

<白金標準、将来の高値を生むための修正局面・・・>



(出所：オアシス)

銅の関税に向け NY マーカンタイル取引所のプラチナ指定倉庫では、7 月 16 日の 8.5 トンから 7 月 31 日には 17.6 トンまで増加するなど、関税を狙ったロンドン市場から米国市場へ現物の移動が示されている。しかし銅の関税対象の思惑が外れた事からロンドン市場のプラチナリースレートは 20%から 10%を下回る下落を示し、NY マーカンタイル取引所のプラチナ指定倉庫の在庫もピークから 0.6 トンの減少を示している。4 月 2 日に金は相互関税の対象外と発表した折も、関税の期待感から NY マーカンタイル取引所のプラチナ在庫は 19.6 トンまで増加したが、7 月 9 日にトランプ大統領が銅に対して 50%の関税を課すと発表するまで 8.5 トンへ減少している。ただ価格と在庫の相関性は無視されて現物は減少するも価格は上昇を続けており、関税プレミアムを受けた価格の値動きに思える。

しかしその値動きも、7 月 22 日のリースレートが 40%を付けた日が価格のピークとなり、1511.4 ドルから一時 1271.1 ドルまで下落している。特に白金標準先物も 6293 円をピークに 5686 円まで下落しており、高値が止まった値動きの修正波動の域に思え、今週に再度 5686 円を試す値動きを示す可能性は高まると思え、下値追いに注意が必要に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** は切り上げ。また RCI では**短期**が下げながら、**長期**は上昇している。特に週足が **10 週移動平均線**を下回るなど、戻り売りの域に思え、5900 円以上は売り狙いが妥当に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,955,000 円(2025 年 8 月 12 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2025 年 8 月 12 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>